

平成 23 年 3 月 1 日

再審査方針（案）

日本ジオパーク委員会

1. 目的

- ・ 定期的に再審査を行うことにより、各ジオパークの活動の質的向上を図るとともに、ジオパークの品質保証を社会にアピールする。
- ・ 各ジオパークと JGC が意見交換することにより、日本のジオパーク全体の方針・目標とそれを実現するための行動について互いに確認する。

2. 再審査時期

- ・ 日本ジオパークに認定された後、4 年ごとに行う。

3. 再審査で評価するポイント

- ・ 認定時およびその他の機会に JGC から指摘した問題点の改善状況を見る。
- ・ 4 年間に行った事業・活動が、日本ジオパークとして質が高いものであるか、量的に十分なものであるかどうか（保全、研究、教育普及、ジオツーリズムの振興と地域活性化の観点から）。
- ・ 運営組織・体制の状況。
- ・ 認定以降に新たに始めた事業・活動について、ジオパークの理念に照らして適切かどうか。
- ・ 火山噴火、地震、土砂災害などジオパークの中で起こった各種自然災害への対処の状況。

4. 再審査の方法

- ・ 上記の再審査のポイントについてまとめた各ジオパークの活動報告に基づき、事前に調査項目を絞って現地調査を行い、委員会で結果をまとめ、発表する。
- ・ 重要で早急に解決を要する問題点が見つかった場合には、2 年以内の解決を求める警告を行い（イエローカード）、2 年後に再審査を行う。その時点で解決していない場合認定を取り消す（レッドカード）。

5. その他

- ・ 毎年 JGN 大会の度に各ジオパークに活動報告を出してもらって JGN でまとめて公開し、活動状況の把握に役立てる。
- ・ 世界ジオパークの再審査は GGN が 4 年ごとに行うので本委員会では行わない。ただし、希望があれば GGN の再審査に先立って JGC 委員が調査を行いアドバイ

スする。

- ・ 再審査チェックリストを別途作成する。

備考

再審査予定地域

2008年認定：南アルプス（中央構造線エリア）、アポイ岳、（室戸）

2009年認定：天草御所浦、阿蘇、隠岐、恐竜渓谷ふくい勝山

2010年認定：霧島、伊豆大島、白滝

GGN 再審査：島原半島、糸魚川、洞爺湖有珠山が2013年、山陰海岸が2014年。

室戸が今年認定されれば2015年